前橋市役所
文化国際課
ジャクソン・バニスター

第七号 令和八年三月

MAEBASHI FOCUS

国際交流員（CIR）ニュースレター

ワカサギ釣り

観光政策課の皆さんからお声がけいただき、赤城大沼でのワカサギ釣りに同行させていただきました。当日は、観光PR用の写真や動画の撮影も行いました。

前橋で雪を見ることは奇跡に近いと感じている私にとって、赤城大沼へ向かう道のりは、まるで別世界に足を踏み入れたかのようでした。一面は真っ白な雪景色に包まれ、霧氷をまとった赤城山の山頂はきらきらと輝き、まさに息を呑む美しさでした。

釣り自体も、とても楽しく、学びの多い体験でした。実際に釣りを始める前に、道具をお借りした青木旅館のスタッフの方から実演を見せていただきました。なんと、わずか10分で3匹のワカサギを釣り上げたのです。それを見て、「これなら1時間もあれば大量に釣れるに違いない」と思ってしまいました——しかし、その考えは甘かったのです。

最初に挑戦したのは、同行した観光政策課のお二人のうちのお一人。約10分間挑戦しましたが、成果はゼロ。続いてもう一人の方も、何度かアタリはあったものの、残念ながら釣り上げることはできませんでした。いよいよ私の番です。10分経っても釣れず、何度か引きを感じるものの、なかなか成果に結びつきません。このままボウズで終わるのではないかと半ば諦めかけたその時、最後にもう一度アタリを感じました。すぐに糸を巻き上げると、ついに1匹のワカサギが！小指よりも小さな魚でしたが、その瞬間はまるで本マグロを釣り上げたかのような気分でした。

その後は青木旅館で昼食をいただき、当日釣れた4匹（私の1匹も含めて）を天ぷらにしていただきました。自分で釣った魚の味は、格別でした。

そして1月29日には、前橋ヤングリーダーズプログラムにて通訳を務める機会をいただきました。本プログラムでは、アジアやヨーロッパ各国で公共行政に携わる優秀な人材が前橋を訪れ、市の取り組みを学び、その知見を自国で生かすことを目的としています。

皆さん、ハウディ！
ここ2か月の前橋での生活は、本当に盛りだくさんでした。ワカサギ釣りからイタリアをテーマにしたイベントの司会まで、新年はまさにノンストップのジェットコースターのようなスタートとなりました。

まずは、群馬の冬の風物詩のひとつであるワカサギ釣りに参加した体験についてお話ししたいと思います。

ヤングリーダーズプログラム

当日は市長の通訳を担当し、前橋こども図書館や消防局の見学にも同行しました。特に前橋こども図書館はとても充実した施設で、お子さまのいらっしゃる方にはぜひ訪れていただきたい場所です。世界各国から集まった意欲あふれる皆さんと出会えたことは、何よりも貴重な経験でした。

最後に、2月14日には前橋中央公民館で、前橋市国際交流協会（MIA）主催のイタリアをテーマにしたイベントで司会を務めさせていただきました。このような形で司会を担当するのは初めてだったため少し緊張していましたが、結果的にはとても楽しく進行することができました。思っていたよりも落ち着いて臨むことができたのも良かったです。当日はガラスペンからフェラーリまで、幅広いブースが並び、最後には豪華景品が当たるスタンプラリーも行われました。ご参加いただいた皆さまにとって、楽しいひとときとなっていれば幸いです。このような大切な機会をくださったMIAの皆さまに、心より感謝申し上げます。

「イタリアを楽しもう！」イベント